

## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年2月4日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 太陽工機  
 コード番号 6164 URL <http://taiyokoki.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺 登

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 牛尾 滋昭

TEL 0258-42-8808

四半期報告書提出予定日 平成23年2月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	2,421	206.1	△187	—	△220	—	△225	—
22年3月期第3四半期	791	△85.2	△1,102	—	△1,121	—	△1,252	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	△77.52	—
22年3月期第3四半期	△429.68	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	3,458	848	23.9	284.78
22年3月期	3,392	1,068	31.1	362.30

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 827百万円 22年3月期 1,053百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	114.4	70	—	15	—	5	—	1.71

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。)

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	2,978,200株	22年3月期	2,978,200株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	70,776株	22年3月期	70,776株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	2,907,424株	22年3月期3Q	2,915,690株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する定性的情報	1
(2) 財政状態に関する定性的情報	1
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当社を取り巻く経営環境は、回復の傾向が顕著になってまいりました。すなわち、国内外における設備投資需要は着実に回復してきており、特に海外におきましては、アジアを中心とした新興国において、現地企業のみならず、先進国企業からの設備投資需要が大いに高まっております。

このような環境の中、当社の受注状況は安定的に回復してまいりました。特に、海外での受注活動につきましても、中国及びフランスにおける駐在拠点を軸に、エネルギー関連等の需要を取り込んでおります。加えて、国内企業の海外進出に向けた設備投資も活発化しており、受注増加の追い風となっております。

また、平成22年10月から11月にかけて、国内最大の工作機械見本市「JIMTOF2010」に出展、新製品 Vertical Mate 85を中心に、工程革新、高精度化といった従来からの優位性に加え、低価格の実現による導入コスト低減を訴求し、ユーザー層を拡大、需要喚起いたしました。

一方、収益確保のための経費削減については、開発設計・部品調達・組立作業といった製造プロセスの効率化を推進し、調達コスト・労務コストの低減を図っております。また、全社的な経費削減活動を行い、固定費の削減にも努めております。

この結果、受注状況は前年同期比大幅に改善し、当第3四半期累計期間の受注高は、3,247,453千円（前年同期比156.5%増）となりました。うち当社主力機種である立形研削盤は、2,668,217千円（前年同期比177.8%増）、横形研削盤は、461,613千円（前年同期比84.3%増）、その他専用研削盤は、117,622千円（前年同期比112.9%増）となりました。

売上高につきましては、受注状況の改善により、当第3四半期累計期間の実績は、2,421,392千円（前年同期比206.1%増）となりました。品目別に示すと、立形研削盤は、1,859,015千円（前年同期比171.8%増）、横形研削盤は、344,254千円（前年同期比390.0%増）、その他専用研削盤は、200,622千円（前年同期比557.3%増）となりました。

損益につきましては、営業損失187,943千円（前年同期は1,102,593千円の損失）、経常損失220,275千円（前年同期は1,121,625千円の損失）、四半期純損失225,392千円（前年同期は1,252,811千円の損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第3四半期末の流動資産は前事業年度末に比べて135,950千円増加し、2,035,751千円となりました。これは主に売掛金が211,639千円、仕掛品が230,916千円、原材料及び貯蔵品が75,646千円増加したこと、現金及び預金が216,674千円減少したことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期末の固定資産は前事業年度末に比べて70,268千円減少し、1,422,372千円となりました。これは主に有形固定資産が63,142千円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期末の流動負債は前事業年度末に比べて327,212千円増加し、1,671,421千円となりました。これは主に買掛金が150,980千円、短期借入金が150,000千円、製品保証引当金が32,516千円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期末の固定負債は前事業年度末に比べて41,157千円減少し、938,506千円となりました。これは主にリース債務が37,226千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期末の純資産は前事業年度末に比べて220,372千円減少し、848,196千円となりました。これは利益剰余金が225,392千円減少したこと、新株予約権が5,019千円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前事業年度末に比べて86,674千円減少し、132,726千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は310,259千円の減少となりました。

これは主に、税引前四半期純損失220,427千円の計上、売上債権の増加206,051千円、たな卸資産の増加331,307千円、事業構造改革費用の支払29,778千円、法人税等の支払3,303千円の資金減少要因と、減価償却費89,997千円、製品保証引当金の増加32,516千円、仕入債務の増加150,980千円、未収消費税等の減少173,000千円、未払消費税等の増加19,248千円、未払費用の増加8,831千円による資金増加要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は109,825千円の増加となりました。これは主に定期積金の減少130,000千円による資金増加要因と、有形固定資産の取得18,199千円の資金減少要因によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は113,760千円の増加となりました。これは主に短期借入金の増加150,000千円による資金増加要因と、リース債務の返済35,812千円の資金減少要因によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の通期業績予想につきましては、前回(平成22年10月22日付「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しております)の内容から変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、これにより、損益に与える影響はありません。

### (3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	132,726	349,400
受取手形	—	5,588
売掛金	907,483	695,844
製品	24,487	—
仕掛品	732,720	501,804
原材料及び貯蔵品	225,422	149,775
その他	13,910	198,387
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	2,035,751	1,899,801
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	931,354	984,614
土地	356,336	356,336
その他(純額)	93,162	103,044
有形固定資産合計	1,380,853	1,443,996
無形固定資産	26,289	34,838
投資その他の資産	15,229	13,805
固定資産合計	1,422,372	1,492,640
資産合計	3,458,124	3,392,442
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	213,072	62,092
短期借入金	1,200,000	1,050,000
未払法人税等	6,946	4,508
前受金	6,000	6,000
製品保証引当金	74,433	41,916
その他	170,969	179,692
流動負債合計	1,671,421	1,344,209
固定負債		
リース債務	880,243	917,470
その他	58,262	62,193
固定負債合計	938,506	979,664
負債合計	2,609,928	2,323,873
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	700,328	700,328
資本剰余金	637,828	637,828
利益剰余金	△450,496	△225,104
自己株式	△59,682	△59,682
株主資本合計	827,978	1,053,370
新株予約権	20,217	15,198
純資産合計	848,196	1,068,568
負債純資産合計	3,458,124	3,392,442

## (2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	791,141	2,421,392
売上原価	1,003,040	1,964,769
売上総利益又は売上総損失(△)	△211,898	456,622
販売費及び一般管理費	890,694	644,566
営業損失(△)	△1,102,593	△187,943
営業外収益		
受取利息	497	121
助成金収入	25,004	7,939
受取手数料	518	249
固定資産税還付金	—	3,964
その他	1,387	5,311
営業外収益合計	27,407	17,586
営業外費用		
支払利息	29,189	32,441
売上割引	1,433	1,349
支払手数料	8,632	9,014
その他	7,184	7,112
営業外費用合計	46,440	49,918
経常損失(△)	△1,121,625	△220,275
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,236	—
特別利益合計	1,236	—
特別損失		
固定資産除却損	—	152
減損損失	4,480	—
特別損失合計	4,480	152
税引前四半期純損失(△)	△1,124,870	△220,427
法人税、住民税及び事業税	5,074	4,964
過年度法人税等	10,000	—
法人税等調整額	112,866	—
法人税等合計	127,941	4,964
四半期純損失(△)	△1,252,811	△225,392

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△1,124,870	△220,427
減価償却費	93,480	89,997
減損損失	4,480	—
固定資産除却損	—	152
受取利息	△497	△121
支払利息	29,189	32,441
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,236	—
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△25,169	—
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△84,673	32,516
売上債権の増減額(△は増加)	991,803	△206,051
たな卸資産の増減額(△は増加)	△185,551	△331,307
仕入債務の増減額(△は減少)	55,659	150,980
未収消費税等の増減額(△は増加)	△161,470	173,000
未払消費税等の増減額(△は減少)	△40,824	19,248
未払金の増減額(△は減少)	△7,543	2,469
未払費用の増減額(△は減少)	5,941	8,831
その他	67,640	3,611
小計	△383,639	△244,659
利息の受取額	497	121
利息の支払額	△29,006	△32,639
事業構造改革費用の支払額	—	△29,778
法人税等の支払額	△297,031	△3,303
営業活動によるキャッシュ・フロー	△709,181	△310,259
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期積金の純増減額	43,000	130,000
有形固定資産の取得による支出	△5,522	△18,199
無形固定資産の取得による支出	△4,625	—
貸付けによる支出	—	△790
貸付金の回収による収入	—	9
その他	△72	△1,195
投資活動によるキャッシュ・フロー	32,779	109,825
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△198,000	150,000
自己株式の取得による支出	△4,640	—
リース債務の返済による支出	△30,730	△35,812
配当金の支払額	△43,567	△4
その他	△842	△422
財務活動によるキャッシュ・フロー	△277,781	113,760
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△954,183	△86,674
現金及び現金同等物の期首残高	1,141,931	219,400
現金及び現金同等物の四半期末残高	187,747	132,726

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。